



聚楽学区

第5号
(平成30年2月)

編集・発行：聚楽学区自主防災会

お知らせ 袋路等始端部(トンネル部分)が修繕されました！

昨年度の『防災ウォーク』をきっかけに、所有者の方に、働き掛けていた袋路入口部分（トンネル部分）が京都市の助成制度を活用し、修繕されました。今後も災害に強いまちを目指し、取組を進めていきます。



修繕前

修繕後

◆防災まちづくりの各種支援制度の問合せ先

京都市まち再生・創造推進室（密集市街地・細街路対策担当）
電話：075-222-3503

防災訓練で「防災まちづくり」アンケートを実施しました！

「防災まちづくり・耐震コーナー」を設置し、参加者の方に、「防災まちづくり」の目的やこれまでの取組報告、「防災まちづくり」に関するアンケートを実施しました。

防災まちづくりアンケートの結果（抜粋）

Q. 防災まちづくりのなかで、取り組んでいく必要がある取組や重要な取組は？（複数回答）

防災まちづくりの方向性		具体的な取組	〇記入数
みち	骨格となる道の安全性を高める	・沿道の建物を地震や火事に強い家にする	49
		・建替え時の後退部分を道路状にし、道を広げる	39
	路地の安全性を高める	・路地ごとの危険箇所を改善し、安全性を高める	46
		・路地に不要な物を置かないなど、適正な管理をする	57
いえ	建物の安全性を高める	・建物（自宅含む）を地震や火事に強い家にする	48
	空き家対策を進める	・町内で空き家の把握し、所有者情報等を共有する	53
		・空き家の活用や適正な管理を行う	50
まち	防災機能の整備	・災害時の資源（井戸や公園）を整備する	43
	防災上の課題や資源、「地域の集合場所」の点検・再確認	・町内の防災上の課題や資源、「地域の集合場所」を確認する	47
その他「コミュニティ・歴史」	防災まちづくりに関する情報発信	・防災訓練等の地域行事で防災まちづくりの取組や市の制度等について周知をする	38
	地域の防災力の向上	・防災リーダーの育成や活動の輪を広げる	36
	地域コミュニティの向上	・住民同士で日頃からコミュニケーションを行う	55
	町内会単位の取組を進める	・町内会で地域の課題に取り組む	35
	地域の各種団体との連携	・地域内の様々な団体と協力しながら課題に取り組む	36
学区の歴史の保全・継承	・路地や井戸、聚楽第などの歴史ある地域資源を再確認し、次の世代に残していく	53	

みちは、「路地に不要な物を置かないなどの適正な管理をする」が最も回答が多い

いえは、「市と連携して、老朽空き家の除却に取り組む」が最も回答が多い

まちは、「町内の防災上の課題や資源、『地域の集合場所』を確認する」が最も回答が多い

その他は、「住民同士で日頃からコミュニケーションを行う」が最も回答が多い。
2番目に「歴史ある資源を再確認し、次の世代に残していく」が多い

第2回『防災まちづくり住民意見交換会』を開催しました！

12月13日（水）に、各町内会長・防災部長に参加いただき、防災まちづくり方針（案）の説明と災害時に倒れない・燃えない家づくりと安全に避難できる道づくりについてセミナーを行いました。それを踏まえ、一人ひとり、町内会、学区でできる「防災まちづくり」の取組や目指すまちの将来像についてブロックごとに意見交換を行いました。

当日の意見交換会の様子 【参加者数：20名】



学区の成り立ちや防災上の課題、今後必要な取組についてみんなで確認しました。



災害に強いまちにするために必要な取組について話し合いました！



目指すまちの将来像について話し合いました！

意見交換の主なご意見（各主体で取り組んでいくこと・目指すまちの将来像）

目指すまちの将来像イメージ（聚楽のよいところ、残したいところ 等）

- 学区の規模が小さく、繋がりやまとまりがある
- みちが狭いことで、顔の見える関係がある。コミュニティがしっかりと残っている。
- いろんな世代が住んでいて、お年寄りの知恵やノウハウ、いろんな意見が聞ける

一人ひとりの取組

- 路地の舗装や維持管理について話し合う
- 身の回りの安全対策(家具の固定・火災警報器の設置等)に取り組む
- 防火バケツを設置する
- 日頃から子どもから高齢者まで声掛けをする

町内会の取組

- 空き家を把握する
- 避難経路の見直し・再点検をする
- 様々な媒体を活用し、地域に防災に関する情報を発信する
- 独り暮らしの高齢者を把握する

学区の取組

- 道路幅は出来るところから取組む
- 地域行事を活用し、情報共有や活動周知の機会にする(体育祭で防災に関する種目を実施)
- 耐震啓発を行う(耐震ローラー作戦等)

今後も継続して「防災まちづくり」に取り組んでいきます！

聚楽学区では、来年度も引き続き、災害に強いまちを目指し、「防災ウォーク（まちあるき）」、「まちの歴史セミナー」、「耐震ローラー作戦」、「すぐに出来る対策」、「通りの拡幅整備に向けた取組」を実施していきます。また、「防災まちづくり」の取組が来年度で3年目となり、これまでの取組の集大成として『防災まちづくり計画』策定に向けた取組も進めます。

今後も引き続き、「防災まちづくり」の取組へのご協力をよろしくお願いいたします。